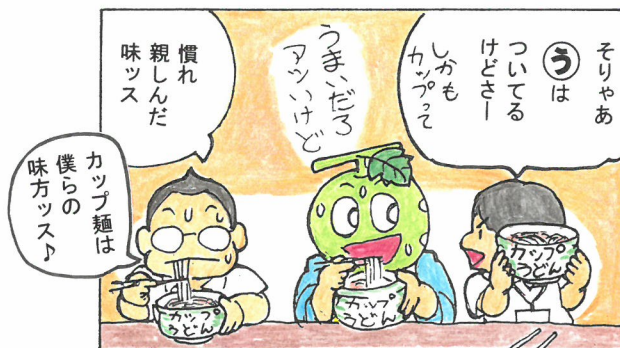
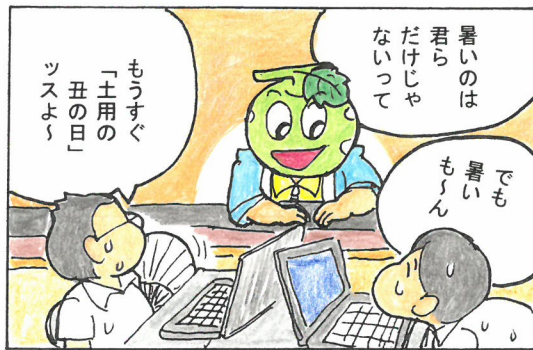


ベルデの
つきがた
グラフィ
ベルデくん



作
SのAた3う

土用は、年に4回あって立夏・立秋・立冬・立春の前、それぞれの約18日間を言います。丑は干支の丑で12日間周期ですので土用の期間中に1回、もしくは2回「土用の丑の日」になります。

今年の夏の丑の日は、7月30日（日）の1回がその日に当たります。

なぜその日に「うなぎ」を食べるようになったかという、話は江戸時代に遡ります。ウナギの旬は冬なので夏に客が来なくて困った鰻屋が、医者で発明家で蘭学者の平賀源内に相談し、相談を受けた源内は「丑の日に⑤のつくものを食べると夏負けしない 本日丑の日」という張り紙を鰻屋に掲げます。

すると、あっという間に広まり、鰻屋は大繁盛したそうです。（諸説アリ）

また、ウナギだけではなく、うどんや、梅干しなど、⑤のつくものを食べると健康になると言われています。案外うどんのカップ麺もありかもね。